

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	町田・デザイン専門学校
設置者名	学校法人 東京町田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
建築専門課程	建築デザイン科(2年制)	夜・通信	1305時間	160時間	
	インテリアデザイン科(2年制)	夜・通信	1125時間	160時間	
デザイン専門課程	グラフィックデザイン科(3年制)	夜・通信	2745時間	240時間	
	イラストレーション科(2年制)	夜・通信	1845時間	160時間	
	Web・CGアニメーション科(3年制)	夜・通信	2790時間	240時間	
	まんが科(2年制)	夜・通信	1890時間	160時間	
	コミックイラスト科(2年制)	夜・通信	1890時間	160時間	
建築専門課程	二級建築士受験科(2年制)	夜・通信	35(単位)	4(単位)	
	建築デザイン科(3年制)	夜・通信	12(単位)	6(単位)	
(備考) 建築専門課程の建築デザイン科通信制については平成31年度にて募集を終了し、現況は3年生のみ在籍している。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。 https://www.mdc.ac.jp/koukai/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	町田・デザイン専門学校
設置者名	学校法人 東京町田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。 https://www.mdc.ac.jp/koukai/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	医療系学園名誉学長 元大学教授（医学部）	2017.12.26 ~ 2020.12.25	教育面における経験から、教育内容・カリキュラム・学科編成等について教育的知見がある。
非常勤	I T企業役員	2017.12.26 ~ 2020.12.25	経営面における経験から、学校運営について経営的知見がある。
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	町田・デザイン専門学校
設置者名	学校法人 東京町田学園

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	●教育課程編成委員会
役割	●教育課程編成委員会 関連業界の実務者として必要とされる素養を身に付けさせるとともに、業界動向等を踏まえて必要とされる知識、スキルの修得を目的とし、企業等連携して組織的教育を行う。そのために、業界動向、新産業の成長に伴い新たに必要となる実務に関する知識、技術、技能などを十分に把握、分析した上で、本学の専門課程の教育にふさわしい授業科目の開設または授業内容の改善、工夫を行うなど、関連業界の企業等の要請を活かしつつ、実践的かつ専門的な職業教育を実施するための課題を協議、検討することを基本方針とする。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(公) 商業施設技術団体連合会専務理事	2020. 4. 1 ~ 2022. 3. 31	(公) 商業施設技術団体連合会専務理事として、商業施設に関わるデザインを業務としており、教育内容・学科編成に対する専門的な知見がある。
(公) 日本広告制作協会会員	2020. 4. 1 ~ 2022. 3. 31	(公) 日本広告制作協会会員として、ビジュアルデザイン全般を業務としており、教育内容・学科編成に対する専門的な知見がある。
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	町田・デザイン専門学校
設置者名	学校法人 東京町田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【作成について】 アドミッションポリシーおよび学科ごとのディプロマポリシー・カリキュラムポリシーを反映させた授業ごとの前期後期のシラバスを作成。 授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準を明確に表記している。シラバスは校内共有フォルダにて関係者間で確認できるほか職員室にていつでも閲覧可能。ホームページでの公開を計画している。</p> <p>【時期について】 翌年度の講義予定(授業計画)1月～2月に担当教員が作成し、(通信制については学科の講師会で開示)2月末の理事会時の議案にて翌年度の事業計画が承認され決定する。3月末に翌年度分のシラバスをHP上に公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.mdc.ac.jp/koukai/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>前期(7月)・後期(1月)においてそれぞれ期末試験または期末制作作品、およびそのプレゼンテーション等により成績評価している。成績評価は優・良・可・不可と表記され、不可は単位未修得となる。(優 100点～85点 良 84点～65点 可 64点から50点)と定め単位認定している。</p> <p>試験、作品での講師評価に加え授業出席状況も成績に加味される。すべて出席した学生は皆勤、12時間以内の欠時は精勤とし卒業時に褒賞対象としている</p> <p>以上の評価学修成果を進級卒業判定会議にて厳格かつ適正に評価し単位認定している。学生便覧等で公表している。</p> <p>通信制(上記との相違点) 前期(6月・9月)・後期(12月・3月)においてそれぞれ中間試験・期末試験、期末課題提出およびそのプレゼンテーション、年間120単位時間が義務付けられているスクーリングの出席率により成績評価している。また、前期・後期を通じてのeラーニング視聴率も成績に加味している。試験、作品での講師評価に加えグループ討議により第三者の評価も成績に加味される。</p>	

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

1、昼間部の学科

A：建築デザイン科 インテリアデザイン科

B：グラフィックデザイン科 Web・CG アニメーション科 イラストレーション科

C：まんが科 コミックイラスト科

学科における成績評価の方法は、

成績判定において中間試験・期末試験、課題制作評価・出席評価（90%以上）を成績判定に反映させている。

具体的には、

①講義系の科目については、主に履修した科目について定期試験を行い評価する。

②実習系の科目については、平常の実習課題、最終課題の提出に基づき評価する。

③試験・課題の成績は優、良、可、不可で評価し、不可は不合格・再履修とする。

A 学科：①40%②60%、B 学科：①10%②90%、C 学科：①5%②95%とし、

学科の特性に合わせた講義及び実習の割合となっている。

評価の目安は、

100～85 点⇒優、84～65 点⇒良、64～50 点⇒可、49 点以下⇒不可としている。

G P Aの評価には、

優=3.0、良=2.0 以上、可=1.0 以上、不可=1.0 未満で対応している。

2、通信制の学科

成績判定において中間試験・期末試験、課題制作評価以外にも、スクーリングの出欠状況（80%以上）、eラーニングの視聴率（80%以上）も成績判定に反映させている。

具体的には、

①講義系の科目については、主に履修した科目について定期試験を行い評価する。

②実習系の科目については、平常の実習課題、最終課題の提出に基づき評価する。

③試験・課題の成績は優、良、可、不可で評価し、不可は不合格・再履修とする。

評価の目安は、

100～90 点⇒優、89～70 点⇒良、69～60 点⇒可、59 点以下⇒不可としている。

G P Aの評価には、

優=3.0、良=2.0 以上、可=1.0 以上、不可=1.0 未満で対応している。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

<https://www.mdc.ac.jp/koukai/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業要件は、

- ・ 2年制課程 1700 時間以上の出席時数
- ・ 3年制課程 2550 時間以上の出席時数
- ・ 必要単位数の習得
- ・ 卒業制作※の提出及び公開
- ・ 卒業認定会議での認定

※卒業制作については、卒業制作要綱に基づき、学科の卒業制作テーマ、各自の研究テーマをきめて企画書を提出。卒業制作担当教員（または卒業制作ゼミ担当）指導の下作成する。企画シート・中間チェック・提出チェックを通じて産学ネットワーク展にて公開・プレゼンテーションを行い評価している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://www.mdc.ac.jp/koukai/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	町田・デザイン専門学校
設置者名	学校法人 東京町田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	毎年6月上旬に最新情報をHP公開している。 https://www.mdc.ac.jp/koukai/
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		建築専門課程	建築デザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2117 単位時間/単位	570 単位時間/単位		1480 単位時間/単位		
	夜						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		46人	6人	2人	10人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等
(概要) 全授業の内、3～4回グループ学習の手法を取り入れ、コミュニケーション力、社会人基礎力の育成と共に仲間意識を高める「ピア教育」を積極的に取り入れている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介、各種プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修支援をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20人 (100%)	1人 (5.0%)	16人 (80.0%)	3人 (15.0%)
(主な就職、業界等) ・建築デザイン科では主に建築業界（建設会社・設計事務所等）に就職			
(就職指導内容) ・全学科必須で1年間就職指導の授業を実施し、業界研究から就職試験の対策（面接・筆記・適性試験等）を行っている。 ・個別指導を重視し、就職先が確定するまで担任、キャリアセンタースタッフが学生一人ひとりと個別に面談し指導を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 建築専門課程：商業施設士補、リビングスタイリスト2級、照明コンサルタント、カラーコーディネーター2級、福祉住環境コーディネーター、CAD利用技術者、DIYアドバイザー、インテリアコーディネーター他			
(備考)（任意記載事項） 建築デザイン科(通信教育)及び二級建築士受験科(通信教育)については受講者が社会人の為、除きます。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
40人	2人	5.0%
(中途退学の主な理由) ・家庭の経済的な理由による ・家庭の諸事情による ・体調不良・病気等による ・進路変更による		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・都度担任及び校長、副校長による個人面談、担任及び副校長による保護者面談やカウンセラーによるカウンセリングを通し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。 進路変更希望者に対しても同様である。また、経済的な理由の場合においても学費の延納、分納制度等の措置を紹介すると共に低金利の教育ローン等の紹介をし、出来得る限りのドロップアウト防止に努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		建築専門課程	インテリアデザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2117 単位時間/単位	570 単位時間/単位	単位時間/単位	1480 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		45人	0人	2人	8人	10人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

<p>(概要)</p> <p>様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>全授業の内、3～4回グループ学習の手法を取り入れ、コミュニケーション力、社会人基礎力の育成と共に仲間意識を高める「ピア教育」を積極的に取り入れている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介、各種プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修支援をしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 (%)	7人 (77.8%)	2人 (22.2%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>・インテリアデザイン科では主に建築業界（建設会社・設計事務所等）やリフォーム・インテリア業界に就職</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>・全学科必須で1年間就職指導の授業を実施し、業界研究から就職試験の対策（面接・筆記・適性試験等）を行っている。</p> <p>・個別指導を重視し、就職先が確定するまで担任、キャリアセンタースタッフが学生一人ひとりと個別に面談し指導を行っている。</p>			
<p>(主な学修成果（資格・検定等）)</p> <p>建築専門課程：商業施設士補、リビングスタイリスト2級、照明コンサルタント、カラーコーディネーター2級、福祉住環境コーディネーター、CAD利用技術者、DIYアドバイザー、インテリアコーディネーター他</p>			

(備考) (任意記載事項)
 建築デザイン科(通信教育)及び二級建築士受験科(通信教育)については受講者が社会人の為、除きます。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38人	3人	7.9%
(中途退学の主な理由) ・家庭の経済的な理由による ・家庭の諸事情による ・体調不良・病気等による ・進路変更による		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・都度担任及び校長、副校長による個人面談、担任及び副校長による保護者面談やカウンセラーによるカウンセリングを通し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。 進路変更希望者に対しても同様である。また、経済的な理由の場合においても学費の延納、分納制度等の措置を紹介すると共に低金利の教育ローン等の紹介をし、出来得る限りのドロップアウト防止に努めている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	デザイン専門課程	グラフィックデザイン科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2846 単位時間/単位	770 単位時間/単位	単位時間/単位	1990 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
		単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	55人	2人	1人	11人	12人		
カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)							
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照							
成績評価の基準・方法							
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照							
卒業・進級の認定基準							
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照							

学修支援等
(概要) 全授業の内、3～4回グループ学習の手法を取り入れ、コミュニケーション力、社会人基礎力の育成と共に仲間意識を高める「ピア教育」を積極的に取り入れている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介、各種プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修支援をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 (%)	9人 (100.0%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) ・グラフィックデザイン科は、広告デザイン業界のデザイン事務所、広告制作会社・印刷業界、出版業界に就職			
(就職指導内容) ・全学科必須で1年間就職指導の授業を実施し、業界研究から就職試験の対策（面接・筆記・適性試験等）を行っている。 ・個別指導を重視し、就職先が確定するまで担任、キャリアセンタースタッフが学生一人ひとりと個別に面談し指導を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) デザイン専門課程：色彩検定、illustrator クリエイター能力検定、Photoshop クリエイター能力検定、POP 広告クリエイター(1～3級)、Web デザイナー検定、CG クリエイター検定等			
(備考)（任意記載事項） 建築デザイン科(通信教育)及び二級建築士受験科(通信教育)については受講者が社会人の為、除きます。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38人	4人	10.5%
(中途退学の主な理由) ・家庭の経済的な理由による ・家庭の諸事情による ・体調不良・病気等による ・進路変更による		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・都度担任及び校長、副校長による個人面談、担任及び副校長による保護者面談やカウンセラーによるカウンセリングを通し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。 進路変更希望者に対しても同様である。また、経済的な理由の場合においても学費の延納、分納制度等の措置を紹介すると共に低金利の教育ローン等の紹介をし、出来得る限りのドロップアウト防止に努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン専門課程	イラストレーション科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1928 単位時間/単位	520 単位時間/単位	単位時間/単位	1350 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	63人	3人	1人	3人	4人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
（概要） 全授業の内、3～4回グループ学習の手法を取り入れ、コミュニケーション力、社会人基礎力の育成と共に仲間意識を高める「ピア教育」を積極的に取り入れている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介、各種プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修支援をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
23人 (100%)	0人 (%)	14人 (60.9%)	9人 (39.1%)
（主な就職、業界等） ・イラストレーション科は、広告デザイン業界のデザイン事務所、広告制作会社・印刷業界、出版業界に就職			
（就職指導内容） ・全学科必須で1年間就職指導の授業を実施し、業界研究から就職試験の対策（面接・筆記・適性試験等）を行っている。 ・個別指導を重視し、就職先が確定するまで担任、キャリアセンタースタッフが学生一人ひとりと個別に面談し指導を行っている。			

(主な学修成果(資格・検定等)) デザイン専門課程:色彩検定、illustrator クリエイター能力検定、Photoshop クリエイター能力検定、POP 広告クリエイター(1~3級)、Web デザイナー検定、CG クリエイター検定等 (備考) (任意記載事項) 建築デザイン科(通信教育)及び二級建築士受験科(通信教育)については受講者が社会人の為、除きます。
--

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
52人	3人	5.7%
(中途退学の主な理由) ・家庭の経済的な理由による ・家庭の諸事情による ・体調不良・病気等による ・進路変更による		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・都度担任及び校長、副校長による個人面談、担任及び副校長による保護者面談やカウンセラーによるカウンセリングを通し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。 進路変更希望者に対しても同様である。また、経済的な理由の場合においても学費の延納、分納制度等の措置を紹介すると共に低金利の教育ローン等の紹介をし、出来得る限りのドロップアウト防止に努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン専門課程	Web・CGアニメーション科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2846 単位時間/単位	770 単位時間/単位	単位時間/単位	1990 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
105人		42人	0人	1人	4人	5人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 全授業の内、3～4回グループ学習の手法を取り入れ、コミュニケーション力、社会人基礎力の育成と共に仲間意識を高める「ピア教育」を積極的に取り入れている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介、各種プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修支援をしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 (%)	7人 (77.8%)	2人 (22.2%)
(主な就職、業界等) ・Web・CGアニメーション科は、ゲーム制作・CG制作・映像編集・Webデザインの会社に就職、ゲーム業界・CG業界・テレビ業界などに就職			
(就職指導内容) ・全学科必須で1年間就職指導の授業を実施し、業界研究から就職試験の対策（面接・筆記・適性試験等）を行っている。 ・個別指導を重視し、就職先が確定するまで担任、キャリアセンタースタッフが学生一人ひとりと個別に面談し指導を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) デザイン専門課程：色彩検定、illustrator クリエイター能力検定、Photoshop クリエイター能力検定、POP 広告クリエイター(1～3級)、Webデザイナー検定、CGクリエイター検定等			
(備考)（任意記載事項） 建築デザイン科(通信教育)及び二級建築士受験科(通信教育)については受講者が社会人の為、除きます。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
37人	2人	5.4%
(中途退学の主な理由) ・家庭の経済的な理由による ・家庭の諸事情による ・体調不良・病気等による ・進路変更による		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・都度担任及び校長、副校長による個人面談、担任及び副校長による保護者面談やカウンセラーによるカウンセリングを通し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。 進路変更希望者に対しても同様である。また、経済的な理由の場合においても学費の延納、分納制度等の措置を紹介すると共に低金利の教育ローン等の紹介をし、出来得る限りのドロップアウト防止に努めている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	デザイン専門課程	まんが科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1971 単位時間/単位	530 単位時間/単位	単位時間/単位	1380 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	36人	1人	2人	4人	6人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

（概要）
様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準

（概要）
様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照

学修支援等

（概要）
全授業の内、3～4回グループ学習の手法を取り入れ、コミュニケーション力、社会人基礎力の育成と共に仲間意識を高める「ピア教育」を積極的に取り入れている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介、各種プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修支援をしている

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
15人 (100%)	0人 (%)	4人 (26.5%)	11人 (73.5%)
（主な就職、業界等） ・まんが科は、ゲームデザインや製造業に就職			
（就職指導内容） ・全学科必須で1年間就職指導の授業を実施し、業界研究から就職試験の対策（面接・筆記・適性試験等）を行っている。 ・個別指導を重視し、就職先が確定するまで担任、キャリアセンタースタッフが学生一人ひとりと個別に面談し指導を行っている。			

(主な学修成果(資格・検定等)) デザイン専門課程:色彩検定、illustrator クリエイター能力検定、Photoshop クリエイター能力検定、POP 広告クリエイター(1~3級)、Web デザイナー検定、CG クリエイター検定等
(備考) (任意記載事項) 建築デザイン科(通信教育)及び二級建築士受験科(通信教育)については受講者が社会人の為、除きます。

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36人	3人	8.3%
(中途退学の主な理由) ・家庭の経済的な理由による ・家庭の諸事情による ・体調不良・病気等による ・進路変更による		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・都度担任及び校長、副校長による個人面談、担任及び副校長による保護者面談やカウンセラーによるカウンセリングを通し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。 進路変更希望者に対しても同様である。また、経済的な理由の場合においても学費の延納、分納制度等の措置を紹介すると共に低金利の教育ローン等の紹介をし、出来得る限りのドロップアウト防止に努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		デザイン専門課程	コミックイラスト科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1971 単位時間/単位	530 単位時間/単位	単位時間/単位	1380 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		53人	1人	1人	3人	4人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照

卒業・進級の認定基準
(概要) 様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照
学修支援等
(概要) 全授業の内、3～4回グループ学習の手法を取り入れ、コミュニケーション力、社会人基礎力の育成と共に仲間意識を高める「ピア教育」を積極的に取り入れている。また、随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、学外教育活動の紹介、各種プログラム等を設定し、意欲ある学生の積極的な学修支援をしている

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25人 (100%)	0人 (%)	16人 (64.0%)	9人 (36.0%)
(主な就職、業界等) ・コミックイラスト科は、ゲーム制作やデザイン業界に就職			
(就職指導内容) ・全学科必須で1年間就職指導の授業を実施し、業界研究から就職試験の対策（面接・筆記・適性試験等）を行っている。 ・個別指導を重視し、就職先が確定するまで担任、キャリアセンタースタッフが学生一人ひとりと個別に面談し指導を行っている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) デザイン専門課程:色彩検定、illustrator クリエイター能力検定、Photoshop クリエイター能力検定、POP 広告クリエイター(1～3級)、Web デザイナー検定、CG クリエイター検定等			
(備考)（任意記載事項） 建築デザイン科(通信教育)及び二級建築士受験科(通信教育)については受講者が社会人の為、除きます。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
57人	7人	12.3%
(中途退学の主な理由) ・家庭の経済的な理由による ・家庭の諸事情による ・体調不良・病気等による ・進路変更による		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・都度担任及び校長、副校長による個人面談、担任及び副校長による保護者面談やカウンセラーによるカウンセリングを通し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。 進路変更希望者に対しても同様である。また、経済的な理由の場合においても学費の延納、分納制度等の措置を紹介すると共に低金利の教育ローン等の紹介をし、出来得る限りのドロップアウト防止に努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
通信		建築専門課程	二級建築士受験科	×			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	42 単位時間/単位	26 単位時間/単位	単位時間/単位	16 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		232人	0人	3人	9人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

成績評価の基準・方法

（概要）

成績判定において中間試験・期末試験、課題制作評価以外にも、スクーリングの出欠状況、eラーニングの視聴率も成績判定に反映させている。

通信制の受験資格取得を目標とする学科のため、建築士試験へのモチベーションを高めるように、目標を明確にし、学生に折に触れて情報を伝達している。

以上で学修成果を判定会議にて厳格かつ適正に評価し単位認定している。

上記の内容をHP、学生便覧、入学説明会で公表している。

卒業・進級の認定基準

（概要）

卒業要件は、2年制42単位以上の単位数、スクーリング120単位時間の80%以上の出席数、eラーニングの視聴率80%以上、課題の提出および卒業認定会議において認定された学生が卒業を認められる。

卒業要件についても、入学説明会、オリエンテーション、HPで事前に公表し周知徹底を図っている。

学修支援等

（概要）

働きながら、大学や短大に通いながら学習を続ける受講生のために、スクーリングの都合が合わない学生のための補講を積極的に活用。進級、卒業の比率も他の大学等の通信制と比較して高い率を保持している。

学修に関しても、スクーリング時の講師の指導の充実、eラーニング上からの多様な質問の受付、欠席等のフォローも事務局において丁寧に対応している。

また、卒業後の資格取得に関しても、資格学校と提携して安価に対策講座を提供している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
86人 (100%)	0人 (%)	0人 (64.0%)	0人 (36.0%)

(主な就職、業界等) ・受講者全て社会人の為、なし
(就職指導内容)
(主な学修成果(資格・検定等)) ・二級建築士受験資格
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
214人	16人	7.5%
(中途退学の主な理由) ・仕事の多忙によるスケジュール的に困難な事情による ・大学とのダブルスクールが困難 ・経済的事情による ・家庭の諸事情による・授業についていけなくなる		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・都度担任及び校長、副校長による個人面談、担任及び副校長による保護者面談やカウンセラーによるカウンセリングを通し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。 進路変更希望者に対しても同様である。また、経済的な理由の場合においても学費の延納、分納制度等の措置を紹介すると共に低金利の教育ローン等の紹介をし、出来得る限りのドロップアウト防止に努めている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
通信		建築専門課程	建築デザイン科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	63 単位時間/単位	41 単位時間/単位		22 単位時間/単位		
							単位時間/単位
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		3人	0人	3人	14人	17人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <p>様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <p>成績判定において中間試験・期末試験、課題制作評価以外にも、スクーリングの出欠状況、eラーニングの視聴率も成績判定に反映させている。</p> <p>通信制の受験資格取得を目標とする学科のため、建築士試験へのモチベーションを高めるように、目標を明確にし、学生に折に触れて情報を伝達している。</p> <p>以上で学修成果を判定会議にて厳格かつ適正に評価し単位認定している。</p> <p>上記の内容をHP、学生便覧、入学説明会で公表している。</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <p>卒業要件は、3年制62単位以上の単位数、スクーリング120単位時間の80%以上の出席数、eラーニングの視聴率80%以上、課題の提出および卒業認定会議において認定された学生が卒業を認められる。</p> <p>卒業要件についても、入学説明会、オリエンテーション、HPで事前に公表し周知徹底を図っている。</p>	
学修支援等	
<p>（概要）</p> <p>働きながら、大学や短大に通いながら学習を続ける受講生のために、スクーリングの都合が合わない学生のための補講を積極的に活用。進級、卒業の比率も他の大学等の通信制と比較して高い率を保持している。</p> <p>学修に関しても、スクーリング時の講師の指導の充実、eラーニング上からの多様な質問の受付、欠席等のフォローも事務局において丁寧に対応している。</p> <p>また、卒業後の資格取得に関しても、資格学校と提携して安価に対策講座を提供している。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>・受講者全て社会人の為、なし</p>			
<p>（就職指導内容）</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>・二級建築士受験資格</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p> <p>平成31年に募集を停止している為、令和元年度の卒業生はなし。</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由) ・仕事の多忙によるスケジュール的に困難な事情による ・大学とのダブルスクールが困難 ・経済的事情による ・家庭の諸事情による・授業についていけなくなる		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・都度担任及び校長、副校長による個人面談、担任及び副校長による保護者面談やカウンセラーによるカウンセリングを通し、修学上の不安事項について相談を受け付けている。進路変更希望者に対しても同様である。また、経済的な理由の場合においても学費の延納、分納制度等の措置を紹介すると共に低金利の教育ローン等の紹介をし、出来得る限りのドロップアウト防止に努めている。		

※建築デザイン科（通信課程）については平成31年度にて募集を終了している為、母数が少なくなっています。

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
建築デザイン科 (2年制)	150,000円	710,000円	375,000円	その他内訳：施設設備・管理費270,000円、実習費80,000円、学級費20,000円、後援会費5,000円
インテリアデザイン科 (2年制)	150,000円	710,000円	375,000円	その他内訳：施設設備・管理費270,000円、実習費80,000円、学級費20,000円、後援会費5,000円
グラフィックデザイン科 (3年制)	150,000円	720,000円	395,000円	その他内訳：施設設備・管理費290,000円、実習費80,000円、学級費20,000円、後援会費5,000円
イラストレーション科 (2年制)	150,000円	720,000円	395,000円	その他内訳：施設設備・管理費290,000円、実習費80,000円、学級費20,000円、後援会費5,000円
Web・CGアニメーション科 (3年制)	150,000円	720,000円	395,000円	その他内訳：施設設備・管理費290,000円、実習費80,000円、学級費20,000円、後援会費5,000円
まんが科 (2年制)	150,000円	720,000円	395,000円	その他内訳：施設設備・管理費290,000円、実習費80,000円、学級費20,000円、後援会費5,000円

コミックイラスト科 (2年制)	150,000円	720,000円	395,000円	その他内訳：施設設備・管理費 290,000円、実習費80,000円、 学級費20,000円、後援会費 5,000円
二級建築士受験科(2 年制・通信)	30,000円	330,000円	40,000円	その他内訳：施設設備・管理費 30,000円、実習費10,000円
建築デザイン科 (3年制・通信)	30,000円	280,000円	40,000円	その他内訳：施設設備・管理費 30,000円、実習費10,000円
修学支援(任意記載事項)				
<ul style="list-style-type: none"> ・学費の延納及び分納制度 ・学費等に関する個別対応実施 				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HPで公開している。 https://www.mdc.ac.jp/koukai/		
学校関係者評価の基本方針(実施方法・体制)		
<p>●学校関係者評価委員会</p> <p>学生がより質の高い実践的な教育を受けられるよう、学校運営の改善を目指し、本学の建学の精神に則り、自己評価を行う。より質の高い実践的な教育を目的として教育活動及び学校運営について、時代や社会のニーズを睥んだ目標を設定し、その達成の進捗について評価を行うことが目標となる。また企業、団体、保護者等の学校関係者を選任し、自己評価の結果について改善のアドバイスを受け、組織全体で改善を図る。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
建築会社代表取締役	2020.4.1～ 2022.3.31	企業
商工会議所副会頭	2020.4.1～ 2022.3.31	団体
就職コンサルタント会社代表	2020.4.1～ 2022.3.31	企業
建築会社代表取締役	2020.4.1～ 2022.3.31	企業
高等学校校長	2020.4.1～ 2022.3.31	地域
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校HPで公開している。 https://www.mdc.ac.jp/koukai/		
第三者による学校評価(任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://www.mdc.ac.jp/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。